

プログラム PCalcDLambda.exe の使い方

プログラム PCalcDLambda.exe を起動すると図 1 のフォームが提示される。

	NO	YES
ノイズ		
シグナル		

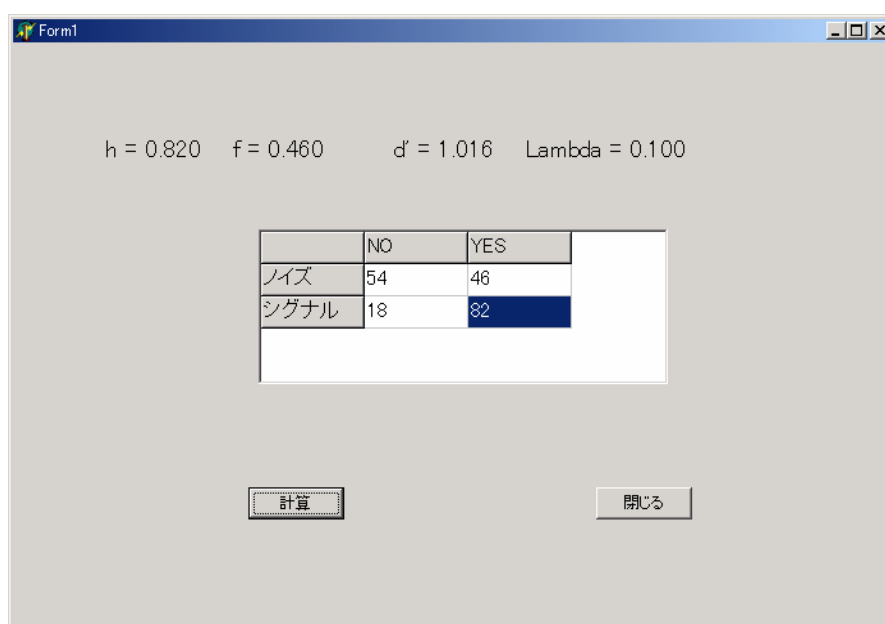
図 1 起動時のフォーム

図 2 のように値を設定する。図 2 の数値は、?? ページで扱われている例である。

	NO	YES
ノイズ	54	46
シグナル	18	82

図 2 頻度の設定

頻度の設定後、計算ボタンをクリックすると、図 3 のように計算結果が表示される。



h = 0.820 f = 0.460 d' = 1.016 Lambda = 0.100

	NO	YES
ノイズ	54	46
シグナル	18	82

計算 閉じる

図3 計算結果の表示

プログラム PCalcDLambda hf.exe の使い方

プログラム PCalcDLambda hf.exe を起動すると図 4 のフォームが提示される。

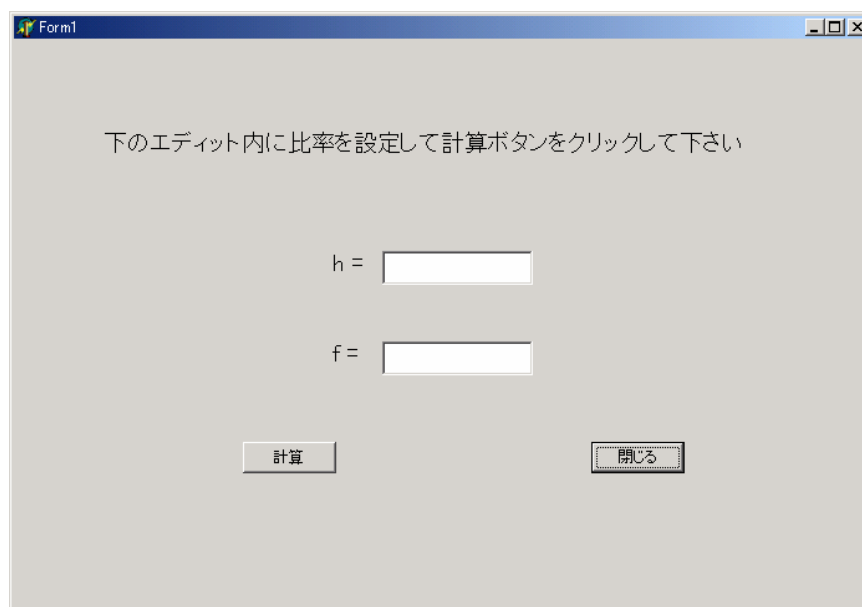


図 4 起動時に表示されるフォーム

Hit 率および False-alarm 率を h および f の値として設定する。図 5 は例 2.2 における値を設定したものである。

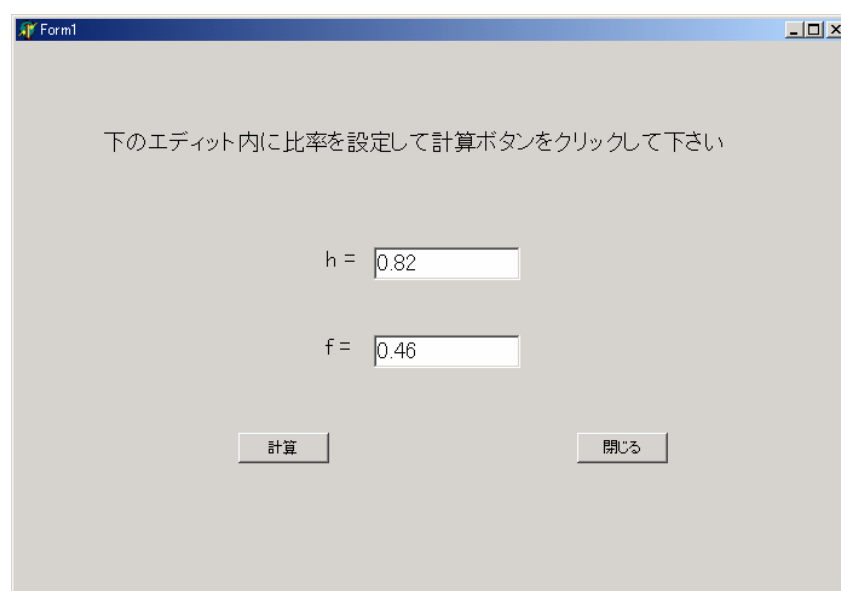
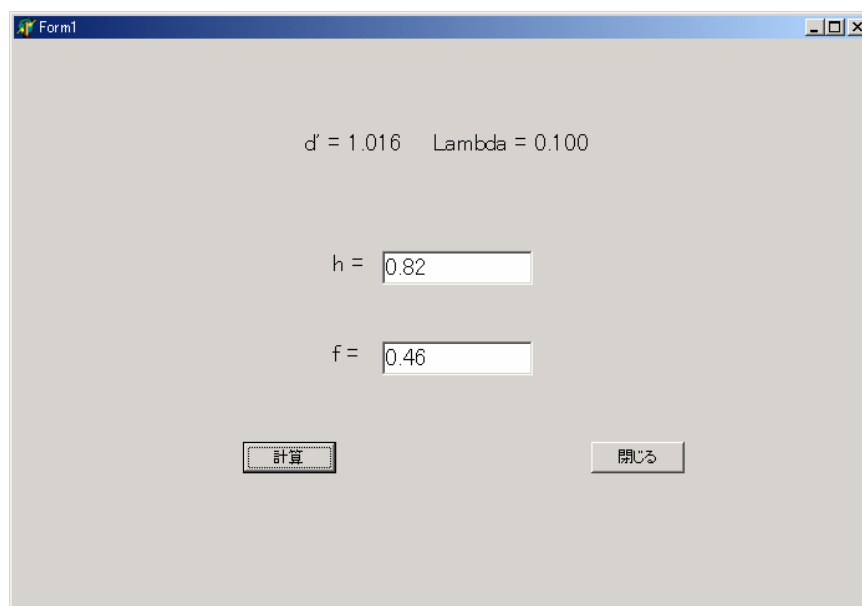


図 5 Hit 率と False-alarm 率の設定

値の設定後、計算ボタンをクリックすると図6のように計算結果が表示される。



Form1

$d' = 1.016$ $\text{Lambda} = 0.100$

$h =$

$f =$

図6 計算結果の表示